

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

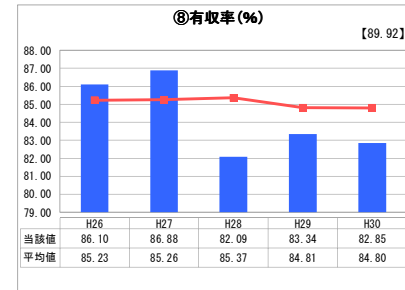
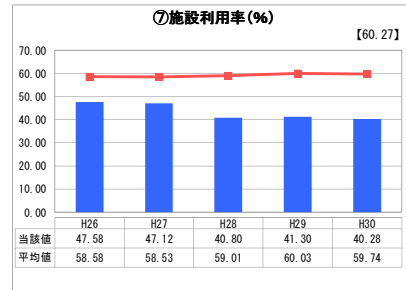
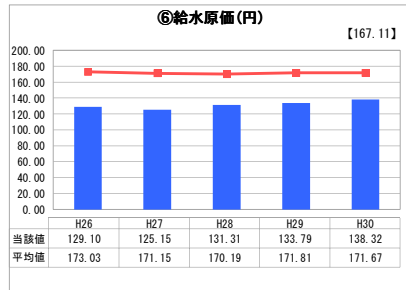
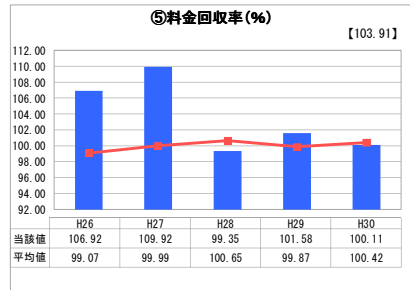
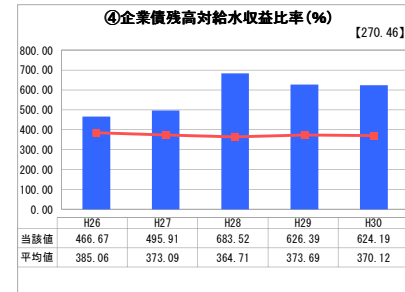
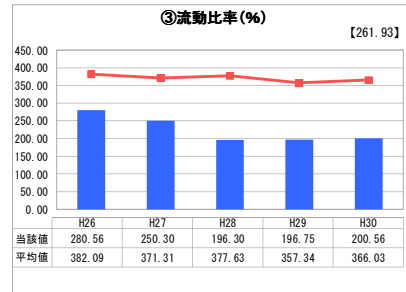
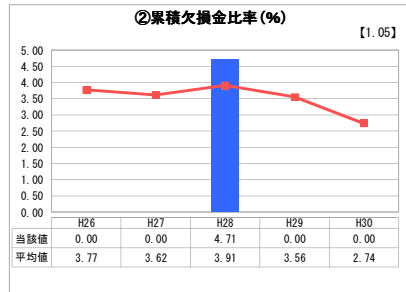
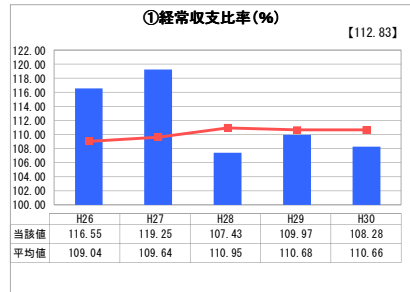
熊本県 菊池市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	42.54	71.83	2,730	

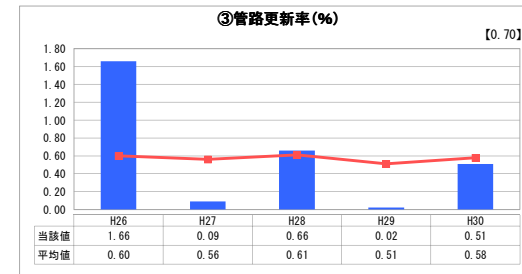
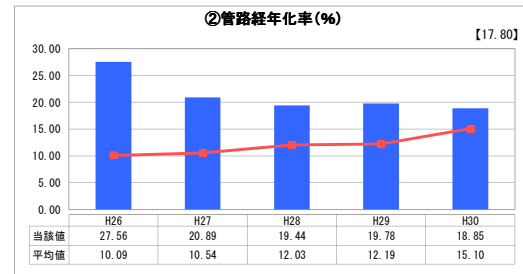
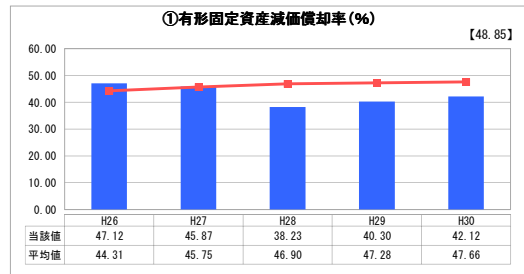
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
49,078	276.85	177.27
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
35,026	71.96	486.74

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、類似団体平均よりやや低い状況にありますが、経常費用を経常収益で賄えていることを示す100%を超えています。

②累積欠損金比率は、平成28年度に簡易水道事業と統合したため欠損金が生じました。

③流動比率は、100%以上となっていることから、経営の健全性は概ね保たれている状況といえます。

④企業債残高対給水収益比率は、旧簡易水道事業の企業債借入れによるものが影響し、類似団体平均値を大きく超えています。毎年の企業債借入額がその年度の企業債償還額を上回らない額としているため、指数は低下し改善傾向にあります。

⑤料金回収率は、類似団体と同程度で推移しています。

⑥給水原価は、地下水を水源としているため、類似団体平均と比較して低い状況です。

⑦施設利用率は、地形などの影響から多数の施設を保有するための低い状況です。

⑧有収率は、H28年度は熊本地震による漏水や統合した簡易水道の影響により落ち込みましたが、H29年度以降は漏水については修繕が進み改善しました。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均と比較しても同様な状況であり、水道水の安定供給に影響を及ぼす状況ではありません。

②管路経年化率は、類似団体平均を超えている状況ですが、管路の実情に応じて計画的に更新しています。

③管路更新率は、年度により大きく変化していますが管路の実情に応じて計画的に更新しています。

## 全体総括

今後の施設更新時にダウンサイジング等を実施することにより施設利用率の向上を図るとともに、老朽化の進んだ管路を計画的に更新することにより、有収率の改善を図っていく必要があります。